

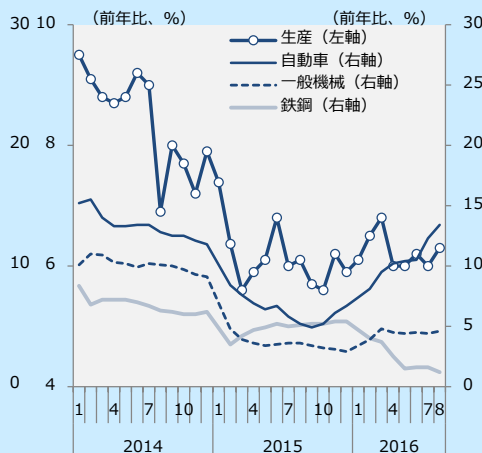
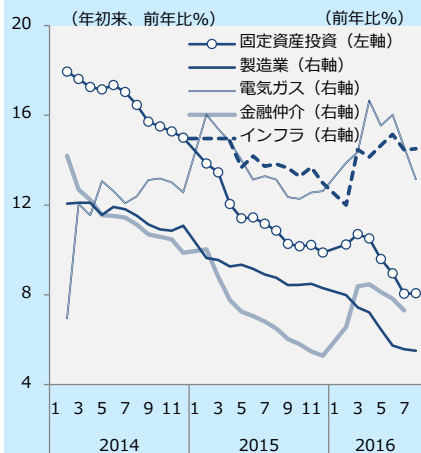
中国：8月の経済指標

—輸入は1年10ヶ月ぶりの増加—

MRI Daily Economic Points
September 13, 2016

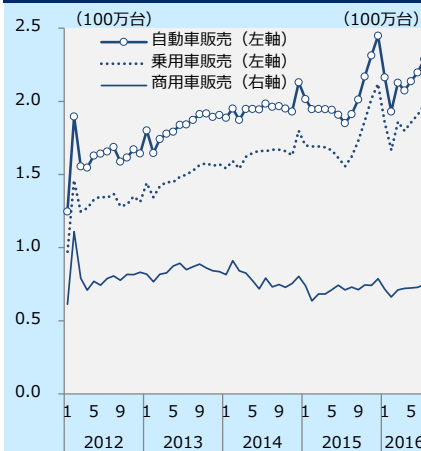
投資

生産



自動車販売

輸出入



評価ポイント

今回の結果

- 2016年1-8月累計の固定資産投資は、前年同期比+8.1%と1-7月(同+8.1%)から伸びは横ばいとなった。内訳をみると、民間企業の投資は、減速傾向は変わらないものの、同+8.3%と前月(同+8.0%)からはやや伸びを高めた。政府によるインフラ投資も好調を維持している。
- 8月の鉱工業生産は、前年同月比+6.3%となり、前月(同+6.0%)から上昇した。低調な鉄鋼生産などが下押ししているものの、自動車生産などが増加を続けていることから、生産は横ばい圏内での推移を続けている。
- 8月の小売売上高は、前年同月比+10.6%と前月(同+10.2%)から上昇し、引き続き高い伸びを維持している。消費が堅調な背景には、好調な自動車販売がある。政府による小型車減税を背景に、乗用車の販売拡大が続いており、全体の消費を下支えしている。
- 8月のドル建て輸出は前年同月比▲2.8%、輸入は同+1.5%と持ち直しの動きを続けている。輸入が前年比でプラスに転じたのは、2014年10月以来1年10ヶ月ぶりであり、輸入の増加は堅調な内需を反映したものと考えられる。

基調判断と今後の流れ

- 中国経済は、過剰供給の調整を背景として、製造業を中心に緩やかな鈍化傾向を続けているが、政府のインフラ投資拡大や、消費の高い伸びが成長を下支えしている。
- 中央政府は企業の税負担軽減策のほか、地方政府に対して社会保険料引下げを要請するなど、企業活動への支援を強めている。今後も、投資は鈍化傾向が続くとみるが、拡大を続けるインフラ投資に加えて、企業に対する負担軽減策の効果が波及することで、民間投資の減速ペースは緩やかなものにとどまると予想する。
- 中国では、来年の党大会で習主席と李克強首相を除く政治局常務委員5名の改選を控えており、派閥間の駆け引きが増している。現体制としては、経済の急失速回避は至上命題であり、引き続き政策面から経済の下支えを図るだろう。